

●受難節第六主日

# 泉のほとり

今日の詩編「第一四三篇」

あなたに向かつて両手を広げ

渴いた大地のようになわたしの魂を

あなたに向けます。



## 主は復活、主は命

主イエスがラザロを復活させた話は、よく知られていますから、「ご存じの方が多くでしょう。でもこの話は、主がラザロを死なせた話でもあるのです。

ラザロの姉たちが出した使いが「あなたの愛しておられる者が病気で」と伝えた時に、主はラザロの死が近いことを悟られたはずですが、でも「この病は死で終わるものではない。神の栄光のためである」と言って、なお二日同じ所に滞在されました。

二日後に主は弟子たちに「ラザロが眠っているから起こしに行く」と言われます。不思議に思う弟子たちに主は、ラザロが死んだことを告げ、自分がそこに居合わせなかったことはあなたがたにとってよかった、と言います。いったい、何が「よかった」のでしょうか。

ラザロは死んだのです。でも主にとって、それは眠りです。起こすことができるからです。そして、わたしたちが見る事実よりも、主が見られる事実が、真実なのです。

主がベタニヤ村に着かれた時、ラザロは死んで四日目でした。当時、死んで三日目までは生き返る希望がありました。四日目になると、もう望みはありません。だから姉のマルタが主に「もしここにいてくださいましたなら、兄弟は死ななかつたでしょう」と言ったのは、一杯の抗議でした。「あなたの兄弟は復活する」

という主の言葉に「終わりの日の復活の時に復活することは存じております」と返します。遠い将来のことなど、今のわたしには何の意味もありません、と言ったのです。それに対して主は「わたしは復活であり命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか」と問われます。復活は遠い将来のことではない。今のことだと言われたのです。主がそこにおられたからです。

死者の復活を信じられない人は多いです。物理的に考えれば、あり得ないことだからです。でもわたしたちも、愛する人が死んだ時に、奇跡でも何でもいいから、この人が生き返ってくれたらどんなにいいかと思うのです。ただわたしたちにはその力がありません。でも神さまにはその方があります。だから神さまがそれを願われたら、人は復活するのです。復活は、神がおられることと、神が愛でいますことのしるしです。そして主はその時、この愛の神としてそこにおられたのです。

主は墓に向かつて、ラザロの名を呼ばれます。その声は、死の壁を突き破って、墓の中に届きます。ラザロは起き上がり、出て来ました。わたしたちが死んだ時も、主はわたしたちの名を呼んでくださるでしょう。そこにわたしの、そしてあなたの、復活の希望があります。

## 眠っているあいだにも

わたしが眠っているあいだにも、

主よ、わたしの心が、

あなたを礼拝することを

中断することがないようにしてください。

わたしの眠りを

あなたのご臨在で満たしてください。

造られたものがなお日覚め、

天使たちとともに

詩編を歌うそのとき

わたしの魂が、讃美の勝利の群れに

加えられていきますように。

平野克己 「祈りのともしび」より

ナジアンソスのグレゴリオスの祈り

## 新年度役員会の体制

先週二一日の役員組織会で、新年度の役員会の体制が左記の通りに決まりました。

書記 山名弘史

副書記 三澤茂夫

財務 山下純一

副財務 神山宣紀

礼拝部 藤本敬三

楠 浩介

伝道部 杉田 博

中須賀洋治

教会学校部 三澤えり子

上原利之

奉仕部 荒美俊三

日比野靖子

センター伝道部 井手希直

野中君子

任職式は四月二二日(日)第一礼拝です。

## 今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサービスと、園舎二階リズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○昼食後、「証しと祈りの会」をします。教員が一年の恵みを証しします。どうぞお聞きください。

○その後、各部委員の選挙のための一斉部会をします。

○部会后、来週のイースター礼拝で受洗・転入会をされる方々の試問会を、カナルームで行います。

○今週は受難週です。左記の日程で「証しと祈りの会」を行います。二九日の聖晚餐礼拝には、多くの方がご参加くださいますように。

二五日(日) 礼拝後

二六日(月) 午後七時から

二七日(火) 午前一時半と午後七時

二八日(水) 午前一時半と午後七時

二九日(木) 聖晚餐礼拝(午後七時)

三〇日(金) 午前一時半と午後七時

○来週はイースター礼拝です。主イエスの復活を祝って、礼拝をします。朝一〇時からの一回礼拝です。

363

教会暦 神の名・神の支配

み神の力は

I sing the almighty power of God  
詞: Isaac Watts, 1674-1748

FOREST GREEN  
曲: イギリス民謡

1 みかみのちからはやまをおこし、  
2 みかみはめぐみで地をみたして、  
3 はなも木もしめす、主のみさかえ。

うなばらをひろげそらをつくる。  
つくれたものよしとされた。  
あまぐももかぜも主にしたかう。

ふかいちえによりのはかがやき  
みよ、そのふしぎはおおうみにも  
すべてのもののみなみむねにより

つきはてりわたりほしもめぐる。  
わがあゆむ地にもおおぞらにも。  
つくれまもられ、ここに生きる。

(♩=96)

次週礼拝

●復活主日礼拝(午前10時)

讃美歌Ⅱ篇131番 180番

説教「主にお日にかかれる」

聖書マルコ16章1〜8節

説教者 古村和雄 牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃美歌21 363番

やさしい目が

説教 「ユダヤ人の王、わたしたちの王」

聖書 マタイ27章32～44節 (新約P57)

司式 山名隆史兄

説教者 聖餐司式 古村和雄 牧師

前奏曲 「まことなるみ神を」 R.グラム

○ 讃美歌21 363番 (3面に楽譜あります)

1. み神の方は 山を起こし

海原を広げ 空を造る

深い知恵により 日は輝き

月は照りわたり 星もめぐる

2. み神はめぐみで 地を満たして

造られたものを よしとされた

見よ その不思議は 大海にも

わが歩む地にも 大空にも

3. 花も木も示す 主のみ栄え

雨雲も風も 主に従う

すべてのもの 皆 みむねにより

造られ守られ ここに生きる

○ ピアノによる讃美

「主の恵みの中で」

○ やさしい目が

1. やさしいめが きよらかなめが

きょうもわたしを みていてくださる

「まっすぐにあるきなさい」とみていてくださる

2. おおきなてが あたかいたてが

きょうもわたしを ささえてくださる

「はなれずにあるきなさい」とささえてくださる

3. かぎりのない ひろいところが

きょうもわたしをまもってくださる

「やすらかにあるきなさい」とまもってくださる

聖餐曲 「プレリュード」 A.フクリャーベン

後奏曲 「いつわりの世に別れを告げ」 D.ウグト

## 第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 138番 357番

詩編 第143編 (旧約P983)

説教 「権威に従う」

聖書 マタイ8章5節～13節 (新約P13)

司式 山名隆史兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允澁 高牧師

前奏曲 「恵み深いイエスを迎えよ」 J.S.バハ

○ 讃美歌 138番

○ バリトンによる讃美

「十字架の愛」 詩：水野源三 曲：竹田山彦

○ 聖歌隊による讃美

「棕櫚の葉」 J.B.ワール

祭りのために 棕櫚の葉 全ての道に飾られぬ

我が涙をぬぐうため イエス来たり給う

この日ぞ喜び歌えよ 声を合わせて 高らかに

喜び歌えよ 我が救い主に 御栄あれ

喜べ エルサレムよ 自由の歌を響かせよ

とこしえの命の主 我らを解き放ち給う

来たりて歌えよ 人みなは 声高らかに

ホザナ 讃えよ 我が救い主に 御栄あれ

○ 讃美歌 357番

聖餐曲 「ああ罪人なる我、何をすべきか」 J.S.バハ

後奏曲 「いつわりの世に別れを告げ」 R.J.クルツェス

※ 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。